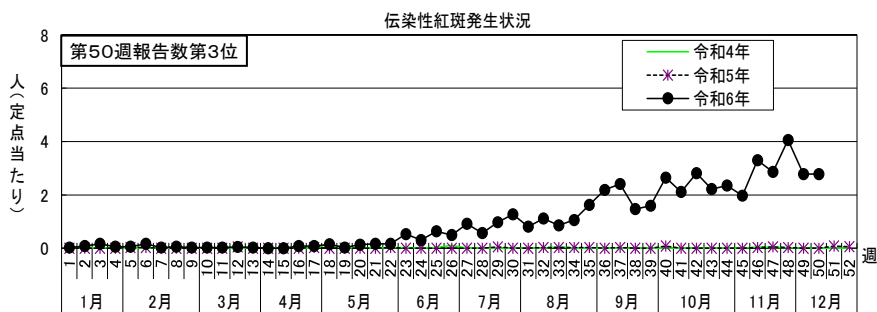
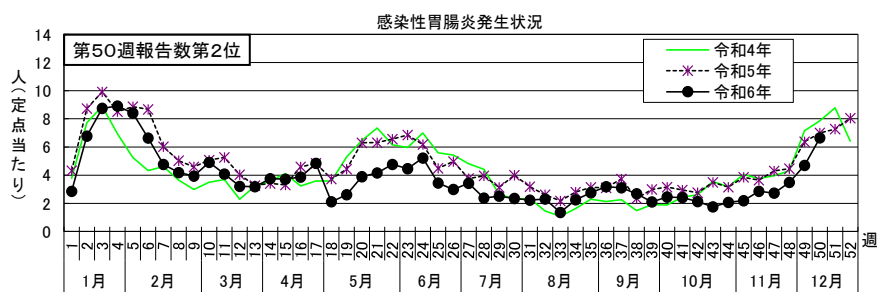
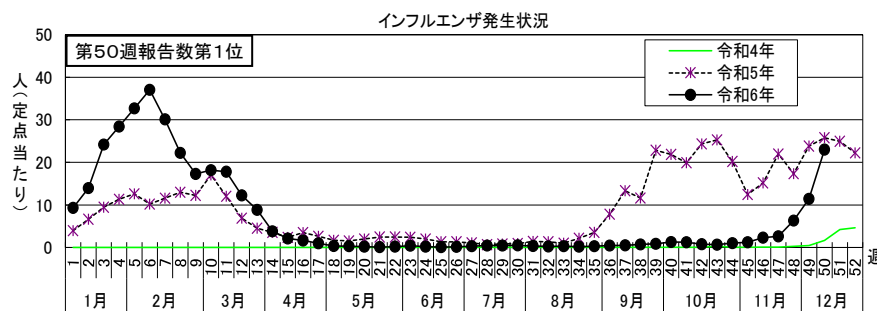


今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】

令和6年12月9日（月）～令和6年12月15日（日）〔令和6年第50週〕の感染症発生状況

第50週で定点当たり患者報告数の多かった疾病は、1）インフルエンザ 2）感染性胃腸炎 3）伝染性紅斑でした。
インフルエンザの定点当たり患者報告数は23.02人と前週（11.41人）から増加し、例年より高いレベルで推移しています。
感染性胃腸炎の定点当たり患者報告数は6.65人と前週（4.70人）から増加し、例年並みのレベルで推移しています。
伝染性紅斑の定点当たり患者報告数は2.78人と前週（2.78人）から横ばいで、例年よりかなり高いレベルで推移しています。



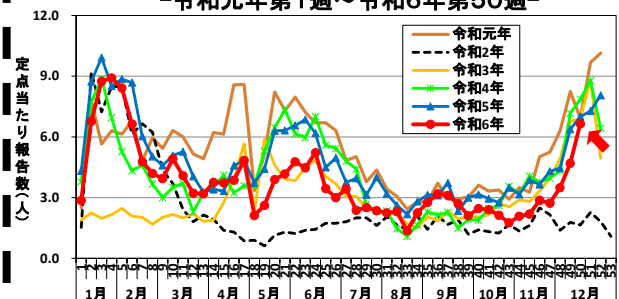
冬場は感染性胃腸炎にも御注意ください！

感染性胃腸炎は、ウイルス（ノロウイルスやロタウイルス等）や細菌等を病原体とする感染症で、通常秋から冬にかけて患者報告数が増加します。

川崎市においても、令和6年は感染性胃腸炎の定点当たり報告数が12月上旬から増加しており、第50週（12月9日～12月15日）には6.65人となりました。流行のピークは例年12月から1月にみられることから、今後さらに患者数が増加する可能性があります。

感染の拡大を防止するためには、感染した方の便や吐物を適切に処理することが重要です。特に冬季に多くみられるノロウイルスに対しては、塩素消毒液が有効ですので、適切な濃度の消毒液を使用するようにしましょう。

川崎市における感染性胃腸炎発生状況
-令和元年第1週～令和6年第50週-



塩素消毒液（次亜塩素酸ナトリウム希釈液）の作り方

食器、カーテン等の消毒や拭き取り (0.02% (200ppm) の塩素消毒液)		
製品濃度	次亜塩素酸ナトリウムの量	水の量
12%	5ml	3L
6%	10ml	3L
1%	60ml	3L

おう吐物等の廃棄（袋の中で廃棄物を浸す） (0.1% (1000ppm) の塩素消毒液)		
製品濃度	次亜塩素酸ナトリウムの量	水の量
12%	25ml	3L
6%	50ml	3L
1%	300ml	3L

※おう吐物等の酸性のものに直接原液をかけると、有毒ガスが発生することがありますので、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。

※次亜塩素酸ナトリウムは使用期限内のものを使用してください。